

# うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 102



全国的にも珍しい  
上下に動く可動式橋梁

JR学研都市線の住道駅から大東市役所方向に歩いて徒歩3分。恩智川に架かる「住道新橋」って知ってますか？この橋は全国でも珍しい上下に動く可動式橋です。

**緊急時に備えて  
点検整備や操作訓練も**

大雨や台風で河川が警戒水位まで増水すると大東市職員が現地に駆けつけ、住民の安全を守るため鉄扉を封鎖し、可動橋を上昇させて通水断面を確保します。緊急時でもスムーズに運転操作するため、3月～11月の毎月1回深夜帯に点検整備や操作訓練をしています。



住道新橋を通る車



鉄扉の閉鎖と可動橋上昇の操作訓練  
(寝屋川流域協議会Twitterより)

**「大東水害」から  
災害対策で多くの施設が**

1972年に寝屋川や恩智川が氾濫し甚大な被害を受けた「大東水害」ですが、当時の黒田知事が河川大改修に着手し、1979年に高い堤防を完成させました。しかし、住道新橋を架け替える時に、堤防より高い道路を架けることができず現在の形になったとのことです。  
大東市には、河川の増水時に水を一時的に受け入れる深北緑地など多くの防災施設がつけられています。ここでは、自治体職員が災害時に現場判断して防災に備えて「いのちを守る」重要な役割を担っています。

## 「コレイチ」が「コレイチ」が

### 「コレクティブ 国家の嘘」

国家とは、市民とは、報道とは—様々な  
問いかけが胸をえぐるドキュメンタリー映画



ルーマニアで起こった巨大汚職事件を追及するジャーナリストや市民たちを追ったドキュメンタリー映画です。  
事件の発端は、2015年10月に首都ブカレストにあるライブハウス「コレクティブ」で起こった火災事故でした。27名が死亡、180名が負傷する大惨事でしたが、これはこれで終わらず、入院した負傷者が次々と死亡し、死者は64名に達しました。この事態に疑念を抱いた地元の小さなスポーツ紙の編集長は、死亡の原因が感染症だという内部告発をうけて調査を重ね、消毒液の成分が薄められ汚染され

ていたという事実を明らかにし、その裏に製薬会社、病院経営者、政府関係者の癒着があることを突き止めました。彼らの命がけの報道で事実を知った市民は、内閣を辞任に追い込みました。後半は、新たに就任した使命感あふれる若き保健省大臣が政府の腐敗を正そうと奮闘する姿を追います。  
医療行政の問題やジャーナリズムのあり方を問う作品で、ジャーナリスト、市民、大臣と様々な立場から正義を求めて権力に立ち向かう姿は、日本の現実と重なりました。その上、サスペンス映画さながらのハラハラ、ドキドキの展開は一見の価値があります。  
監督は、ルーマニア人のアレクサンダー・ナナウ。アカデミー国際長編映画賞と長編ドキュメンタリー賞にノミネートされたほか、世界各国の映画祭で賞を獲得し、話題を呼びました。  
2021年10月に劇場公開され、今年4月1日にDVDが発売されました。

## Culture Navi かるちパーナ

作りませんか



三色そぼろ

交野市職労 国武 裕次さん

協力：現業評議会・給食部会

春の彩り、笑顔  
いっぱい三色そぼろ



材料(4人分)

豚ミンチ120g、にんじん20g、さやいんげん20g、土しょうが0.4g、ホールコーン40g、みりん10g、濃口しょうゆ10g、砂糖3g

作り方

- ①にんじんは5ミリ×5ミリのさいの目切りに、さやいんげんは10ミリ幅に切って、さっと下ゆです。
- ②土しょうがは、みじん切りにする。
- ③豚ミンチ・土しょうがを炒める。
- ④にんじんを加え、火を通す。
- ⑤調味料を加え、煮詰める。
- ⑥水分がなくなってきたら、コーンと下ゆでしたさやいんげんを加え、仕上げる。

★ご飯にかけて丼でお召し上がり下さい。甘辛い味付けで、歯ごたえもよく、ご飯がすすみます。お弁当・ハイキングのお供にもピッタリ。

## 心に響くこのひとこと

戦争で殺されるのも嫌だけど  
もっと嫌なのは  
自分が殺す側に回ること

益川 敏英  
(物理学者 1940年～2021年)

理不尽なプーチンによるウクライナ侵略で子どもたちの命が奪われています。銃口を向けたのは「ウクライナの民族主義者によるジェノサイドからロシア人を守るため」特殊作戦に従事しているつもりロシア兵士。支配者は否応なしに国民を戦地へと駆り立てます。思い出すのは、ノーベル物理学を受賞した故・益川敏英さんの言葉です。科学者が兵器開発などに関わることを断固として拒否した益川さんの言葉をしっかりと受けとめたい。

今月の  
記念日

パンの日  
4月12日

東京都に事務局を置き、パン食の普及や宣伝活動などを行うパン食普及協議会が1983年に制定しました。1842年(天保13年)4月12日に、伊豆国(現：静岡県)の蕨山代官(江戸幕府の直轄領を支配するために設置された役所)において西洋流兵学者の江川太郎左衛門英龍(えがわたろうざえもん ひでたつ)が軍用携帯食糧として「兵糧パン」と呼ばれる「乾パン」を作りました。これが日本で初めて焼かれた「パン」と言われていて、これを記念した日です。また、パン食をいっそう普及させるため、パン食普及協議会は毎月12日を「パンの日」として、全国のパン屋さんがより一層のサービスに努めることとしています。